



## 目次

## 要旨

自動運転トラック（ユースケース、推進要因、阻害要因、地域による違い、技術、実証実験、パートナー提携、ロードマップ、市場予測、提言事項）

自動運転ラストマイルデリバリー（ユースケース、推進要因、阻害要因、地域による違い、技術、実証実験、パートナー提携、ロードマップ、市場予測、提言事項）

自動運転公共交通機関（ユースケース、推進要因、阻害要因、地域による違い、技術、実証実験、パートナー提携、ロードマップ、市場予測、提言事項）

ロボタクシー（ユースケース、推進要因、阻害要因、地域による違い、技術、実証実験、パートナー提携、ロードマップ、市場予測、提言事項）

市場予測データと前提条件

## 関連レポート

## ADASセンサ市場動向

レポート番号：813

本書では、欧州、米国、中国の3つの主要地域の乗用車市場に焦点を当て、各センサ技術（レーダー、カメラ、ライダー、超音波）の機能の概要について解説するとともに、各技術の長所と短所を特定し、より高度な自動運転レベルへの適合性を評価する。各センサの堅牢性、検知、分類機能について、OEMのセンサフュージョン戦略、Tier 1製品、最新の開発状況とともに解説し、最終セクションでは市場規模予測を示す。

レポート番号：AUT811



Autonomous Car

# 人と物の輸送のための L4自動運転市場動向

自動運転はモビリティ分野に変化をもたらす最も大きな要因の1つであり、安全、効率、コストの面でより優れた人と物の輸送を可能にする技術でもあります。他方、この大きな変革には重大なリスクと不確実性が伴います。

本書はモビリティ分野における戦略策定および製品企画を支援することを目的とし、自動運転モビリティの動向について「What（何）」、「Where（どこ）」、「When（いつ）」、「How（どのように）」に焦点を当て評価を行います。

- **What:** 最も有望な自動化レベル4（L4）セグメントは何か？
- **Where:** 自動運転車が最も広範に導入されるのはどこか？
- **When:** L4自動運転車の販売台数が転換点を迎えるのはいつか？
- **How:** 企業はエコシステムにおいて自社をどのように位置付けるべきか？

また4つの主要なセグメント（トラック輸送、ラストマイルデリバリー、公共交通機関、ロボタクシー）におけるL4の導入の進捗状況や課題、今後の動向について、技術、法規制、ユーザーの受容度、商用化といった要素に焦点を当て、解説します。

## 対象市場

欧州 北米 中国  
日本 グローバル その他

## レポート発行頻度

**1**  
毎年更新 四半期更新 ワンタイム

## レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

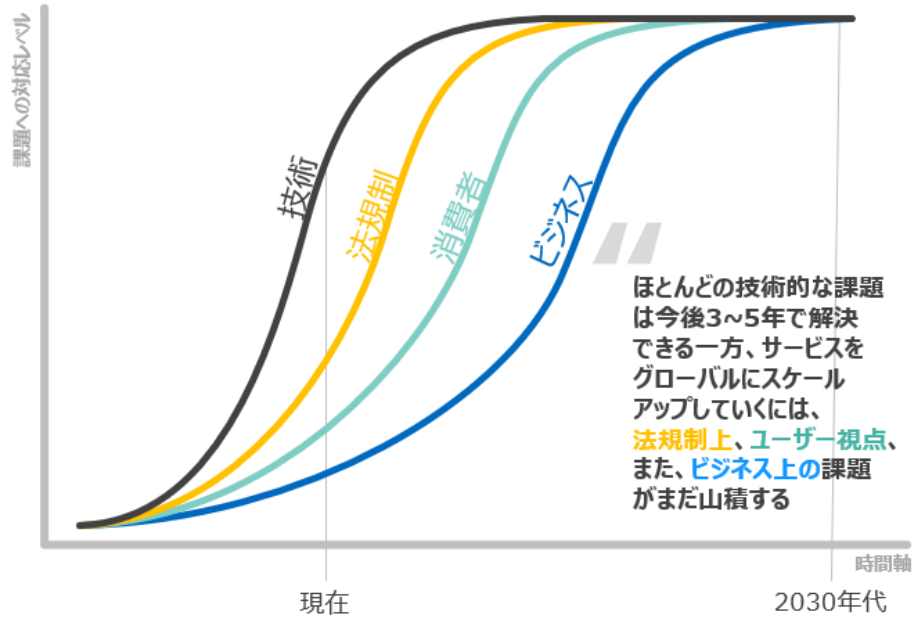
## ページ数

78

お問い合わせ



## 技術はもはやL4実現の主たる障壁ではない



これまでの高度な自動運転化に向けた業界の競争は技術面におけるものであり、メーカー各社が徹底的な実証実験を通じて自動運転車（AV）の堅牢性と安全性の証明に取り組んできた。様々な技術上の課題はまだ残っており、克服が必要ではあるものの、焦点は法規制、ユーザーの受容度、商用化に移りつつある。こうした新たな課題は克服がさらに難しく、今後の普及を阻む要因になるとSBDは考える。最終的に成功できるかどうかは安全性、コスト、利便性の面でより優れたサービスを提供できるかどうかにかかっている。

## SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



## 本書に関するお問合せ・お見積り依頼

### 「人と物の輸送のためのL4自動運転市場動向」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

